Miyazaki International College

Course Syllabus

|  |  |
| --- | --- |
| Course Title (Credits) | EL409企業簿記((2 Credits) |
| Course Designation for TC | N/A |
| Content Teacher | |
| Instructor | 久保良一 |
| E-mail address | rkubo@sky.miyazaki-mic.ac.jp |
| Office/Ext |  |
| Office hours |  |
| Language Teacher | |
| Instructor | N/A |
| E-mail address | N/A |
| Office/Ext | N/A |
| Office hours | N/A |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Course Description: | | |
| 簿記に関する基本的な知識・技能を身に付けられる。 | | |
| Course Objectives: | | |
| 経営活動に伴う取引を記録・計算・整理するための知識・技術を理解し、経営分析を行うための経営実践を行うことができる。 | | |
| Course Schedule: | | |
| Day | Topic | Content/Activities |
| 1 | ガイダンス  簿記の意味、目的、種類  会計単位、会計期間  資産、負債、資本と貸借対照表 | １．日常生活や企業経営活動に役立っている簿記の意味や必要性を知る。  ２．簿記の目的、種類、複式簿記の学習に必要な基礎的知識を知る。  ３．資産、負債、資本の意味や内容を具体的に学ぶ。  ４．資本等式と貸借対照表等式を理解する。 |
| 2 | 資産、負債、資本の増減と純利益の計算  貸借対照表作成 | １．貸借対照表の意味と作成方法を学ぶ。  ２．機種と期末の資本額を比較して純損益の算出方法を学ぶ。  ３．例題で確実に身につける。 |
| 3 | 収益と費用  損益計算書 | １．収益や費用の意味や内容を具体的に知る。  ２．収益総額と費用総額を比較し、純損益の算出方法を学ぶ。  ３．損益計算書の意味と作成方訪問学ぶ。 |
| 4 | 損益計算書作成  取引、勘定 | １．例題で確実に身につける。  ２．簿記上の取引の意味を知る。  ３．勘定、勘定科目、勘定口座の意味を知る。 |
| 5 | 取引要素の結合関係  仕訳 | １．取引要素の結合関係を知る。  ２．仕訳の意味を知り、基本的な仕訳ができるようにする。  ３．仕訳について､具体的に学ぶ。 |
| 6 | 仕訳と転記  仕訳帳とその記入法 | １．略式勘定口座への転記が正しくできるようにする。  ２．主要簿としての仕訳帳の役割と記入法を学ぶ。 |
| 7 | 総勘定元帳とその記入法  仕訳、仕訳帳、総勘定元帳の記入 | １．主要簿としての総勘定元帳の役割と記入法を学ぶ。  ２．仕訳帳に仕訳を記入し、その後、総勘定元帳に転記する。 |
| 8 | 試算表  資産表作成練習 | １．仕訳帳の意味と役割を理解し、試算表の種類とそれぞれの作成方法を学ぶ。  ２．合計試算表、残高試算表、合計残高試算表作成 |
| 9 | 決算(その１)  損益計算書の作成 | １．一連の貴重の流れの中で､決算の基本的な手続きを学ぶ  ２．損益計算書の作成方法を学ぶ。 |
| 10 | 損益計算書の作成練習  貸借対照表の作成 | １．損益計算書作成を通して．書けるようになる。  ２．貸借対照表の作成方法を学ぶ。 |
| 11 | 貸借対照表の作成練習  精算表の作成 | １．貸借対照表の作成を通して、書けるようになる。  ２．６桁清算表の作成方法  ３．複式簿記の仕組みを総合的に学ぶ。 |
| 12 | 精算表の作成練習  総合例題練習 | １．６桁精算表作成を通して､書けるようになる。  ２．これまでの一連の簿記の流れに沿って例題を作成することによって振り返る。 |
| 13 | ｢夏季課題｣  総合記帳問題  小まとめ | １．実務上の一連の流れをさらに発展させる。  ２．これまでの流れを再度、理解しているか確認する。 |
| 14 | 現金・預金の記帳  現金出納帳、当座預金出納帳 | １．現金・預金の記帳法について学ぶ。  ２．現金出納帳、当座預金出納帳の記帳を学ぶ。 |
| 15 | 小口現金出納帳  総まとめ | １．小口現金に関する仕訳と小口現金出納帳の記帳を学ぶ。  ２．企業簿記の総まとめをし、理解度をつかむ。 |
|  | テスト | 日商簿記、全経簿記の３級程度の問題で理解度を測る。 |
| Required Materials: | | |
| 全経簿記検定教科書３級簿記及び簿記の教科書日商３級 | | |
| Course Policies (Attendance, etc.): | | |
|  | | |
| Class Preparation and Review: | | |
| 事前学習：毎回、講義する内容について事前にテキストのページを指定するので、入念に予習し、不明な点等を明確にしておくこと。  事後学習：講義内容にそって、レポートや小テストを課すので、自己の学習内容について振り返り、返却されたレポート等はファイルしておくこと。 | | |
| Grades and Grading Standards: | | |
| テスト５０点、課題プリント３０点、課題取組状況１０点、提出物(夏季課題等)１０点　６０点以上が合格  The final grade will be determined as below.  A: 90-100 points  B: 80-89 points  C: 70-79 points  D: 60-69 points  F: Less than 60 points | | |
| Methods of Feedback: | | |
| 提出された課題はチェック後に解説する。 | | |
| Diploma Policy Objectives: | | |
| １．クリティカル・シンキング（批判的・分析的思考法）をベースにした高度な思考（比較、分析、総合、評価）能力を身につけている。  ３．課題発見及び問題解決能力を身につけている。 | | |
| Notes: | | |
|  | | |